

編集 後記

本号を見ますと少子高齢化・健康危機管理に伴う課題など解決すべき公衆衛生課題はなお多く、山積する課題に効率的に取り組む必要があると改めて考えさせられます。韓国における高齢者訪問栄養教育の効果に関する研究や中華人民共和国の高齢者の健康に関する研究などは、本誌が国際的にこれまで以上に認知される上で一つの重要な位置を占めているといえましょう。公衆衛生分野のグローバル化もあり、本誌は従来の和文のみのスタイルを変更し、英文号を年一回発行することになりました。世界の公衆衛生の発展により大きく寄与されるように、会員の皆様から英文論文が多数投稿されることを期待しています。
(青木伸雄)

次号予告

原著

準寝たきり高齢者の自立度と心理的 QOL の向上を目指した Life Review による介入プログラムの試行とその効果……………藺牟田洋美, 他
看護師に対する禁煙指導強化のための取り組みとその効果……………蓮尾聖子, 他
小学校1年生と6年生およびその母親の健康状態, 体型, 生活・食生活状況との関連……………佐久間章子, 他
介護保健サービス決定における要介護者と家族の主体性に関連する要因の検討
—利用者の基本属性による違い—
……………九津見雅美, 他

資料

同居家族が問題の主体となる高齢者在宅介護の対応困難事例の現状
—長野県 A 市の行政保健師へのインタビューから—……………吉江 悟, 他
がん検診の実施状況に関する市区町村実態調査……………中谷直樹, 他
北海道大学医学部における喫煙実態調査……………今井必生, 他

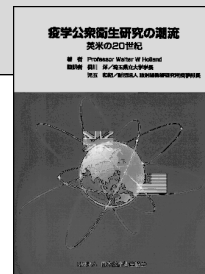
公衆衛生活動報告

医学部公衆衛生実習で実習した循環器疾患ハイリスク者に対する減量指導の試み……………奥田奈賀子, 他

**新刊 疫学公衆衛生研究の潮流
英米の20世紀**

Professor Walter W Holland: Foundations for Health Improvement, Productive Epidemiological Public Health Research 1919–1998 の翻訳書です。

柳川 洋, 児玉和紀 監訳
森岡聖次, 小笹晃太郎, 本莊 哲, 坂田清美, 尾島俊之 翻訳
B5版 212頁 定価 2,205円 (本体価格 2,100円 税105円)
ISBN4-8192-0185-9



20世紀の英米における疫学公衆衛生研究が社会機構や政治経済体制の中でどのような発達を遂げたか、また住民の健康増進, 健康改善に役立ったか, 健康政策決定に関与したかなどの視点から, 英米の主要研究成果を簡明に記述したものです。

発行所 財団法人 日本公衆衛生協会

160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 TEL 03-3352-4281 FAX 03-3352-4605

HP <http://www.jppha.or.jp> e-mail info@jppha.or.jp